

キマダラカメムシの越冬場所

久保弘幸

キマダラカメムシ (*Erthesina fullo*) の越冬状況を確認したので、事例として報告する。本種は近年分布を拡大させているが、東南アジアを原産とする外来種である。越冬は本例のような人為的な空間だけでなく、野外では樹皮下などが利用されるものと推測される。なお同地では、エノキへの産卵も確認している。

確認場所：加古郡播磨町大中

確認年月日：2018年2月21日

越冬場所の状況：エノキの幹に掲示された樹名板と幹の間の空間に静止していた



図1 キマダラカメムシが越冬していたエノキ



図2 越冬していたキマダラカメムシ

(Hiroyuki KUBO 兵庫県明石市
兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会)